

いはらきコープ 社会的責任報告 2024

IBARAKI CO-OP
Corporate Social Responsibility Report



食べるしあわせ、自分らしい暮らし
「ともに」の力で、笑顔の明日を



理事長ごあいさつ

「ともに はぐくむ 暮らしと未来」の理念を掲げ、組合員のふだんの暮らしに貢献するとともに、地域社会から信頼される生協づくりをすすめてまいりました。おかげさまで発足から53年、当時500人足らずの組合員は、現在40万人を超えました。

3年以上続いたコロナ禍はほぼ終息し新しい日常になりましたが、平和を脅かす戦禍の広がり、「地球沸騰化時代」と呼ばれるまでになった気候変動や多発する自然災害、少子高齢化・人口減少、貧困・格差の拡大、自給率低下や食品ロス・環境問題など、私たちは沢山の課題に直面しています。

「いばらきコープ 社会福祉政策」に基づき、組合員の生涯に関わることができる生協を目指し、総合力を発揮しSDGsの実現に向け、協同組合間連携や行政・地域とつながり、直接触れあう関係を大切に、課題・暮らしの困りごとを解決する地域共生社会の一翼を担います。

そして、国連が決議した2025年の「国際協同組合年」を価値あるものにするために、日生協・コープデリ連合会・県生協連・協同組合ネットいばらきなどとともに「協同組合の貢献に対する認知を高め」、「社会の協同の文化を創造していく」ための具体的な取り組みをすすめてまいります。

本年度は新たな「ビジョン2035」を策定しました。2035年に向け、豊かなくらしの実現のために、多様性が尊重され、安心できる地域社会に貢献していけるよう、組合員、地域の皆さんとともに歩んでまいります。



いばらきコープ生活協同組合
代表理事 理事長
木村 千秋



CO-OP

ともに はぐくむ 暮らしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、一つひとつの暮らしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、安心してくらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と平和な未来を追求します。



食べるしあわせ、自分らしいくらし

あした 「ともに」の力で、笑顔の明日を

～私たちは、助け合いの心と協同の力を生みだす「ともに」の力で
未来をきりひらき、誰ひとり取り残さない社会を創ります～

この冊子は、いばらきコープ生活協同組合の2024年度の社会的活動についてまとめ、ステークスホルダーにお知らせするために発行するものです。

*ステークスホルダー：利用者としての組合員・消費者のみならず、お取引先様、行政、諸団体など組合員・事業と連携して取り組みを進めるみなさま、および職員です。

コープSDGs行動宣言

私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを約束(コミット)します。

私たちは、「生協の21世紀理念(1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めてきました。誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs行動宣言」としてまとめました。

私たちは、以下の7つの取り組みをつうじて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます。

持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地球資源へ思いをはせ、商品の開発と供給を進めます。学習活動を通じて、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。

関連するSDGsの主たる目標



目標12(つくる責任、つかう責任)
持続可能な生産消費形態を確保する。

関連するSDGsの目標



地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標(2030年環境目標)を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開発や家庭用電気小売を広げ、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。

関連するSDGsの主たる目標



目標7(エネルギー)
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



目標13(気候変動)
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。

関連するSDGsの主たる目標



目標3(保健)
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

関連するSDGsの目標



世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク・フードドライブなどの取り組みを進めます。

関連するSDGsの主たる目標



目標1(貧困をなくそう)
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。

関連するSDGsの目標



誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮を進めます。

関連するSDGsの主たる目標



目標11(持続可能な都市)
包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

関連するSDGsの目標



ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりを進めます。

関連するSDGsの主たる目標



目標5(ジェンダー)
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。

関連するSDGsの目標



核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みを進めます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。

関連するSDGsの主たる目標



目標16(平和)
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。

関連するSDGsの目標





持続可能な生産と消費のために ～食卓を笑顔に～



つながる力でつくる人達を支える

コロナ禍から新たなつながりづくりへ

2023年5月の新型コロナウイルスの「5類」への移行を受けて、事業・参加とネットワーク両面での感染防止対策の見直しを行いました。必要な感染対策を継続しつつ、一人ひとりの考えの違いを尊重しながら、新たなつながりづくりに取り組んでいます。

商品学習会、産地・工場見学会の再開

コロナ禍により見合わせていた、実参加での商品学習会、産地・工場見学会が徐々に再開されました。県内各地で行われた直接会っての学習・交流の機会に多くの組合員が参加しました。

■実績

	企画回数	参加人数
商品学習会(実参加)	20	369
// (オンライン)	7	78
// (ハイブリット)	1	22
産地・工場見学会	20	485
合 計	48	954



持続可能な農業について | オンラインを活用した産直産地との交流

持続可能な農業・食料生産の実現のための取り組みを進めています。その一つの取り組みとして、2023年9月に、関東農政局・消費・安全部の方を講師に、「みどりの食料システム戦略」をテーマにした学習会をオンラインで開催しました(参加者65名)。

参加者からは、「温室効果ガス削減の問題は工業ばかりかと思っていましたが、農林水産業でも取り組まれていることを知り勉強になった」「エシカル消費や有機栽培の商品を積極的に買い物をしようと思った」「微力ながらも、一人一人が気をつける事で、効果があるとの事がわかった」などの感想をいただきました。



食育教室「たべる、たいせつ」

県内の教育機関や小学校幼稚園などに、食育教室などの案内をまとめた「学校教育に役立つ学習ガイド」を配布し、授業や校内活動などに協力しました。

「食育教室 たべる、たいせつ」は、食育サポーターが講師となり、「楽しくたべる」「日本型食生活」「地産地消」の大切さを県内の小学校や他団体と協力しながら取り組みました。



二次元コード
学校教育に役立つ学習ガイド2024
二次元コードからご覧になれます。
URL
https://ibaraki.coopnet.or.jp/event/learn_prgm/

いばらき美味しお Day

茨城県より依頼を受けて「減塩の日(いばらき美味しお Day)」として、全店舗で特設コーナーを設け来店した組合員の皆さんにお知らせしています。この取り組みは毎月20日を「減塩の日」として全店舗で実施しました。

また、いばらきコープの減塩弁当「からだ健やかシリーズ」を茨城県庁舎(県庁生協内)にて限定60個を販売しました。



いばらき美味しおスタイル指定店

茨城県が推進する、美味しい、ヘルシー、美しい生活スタイルで「減塩」に取り組み健康長寿日本一へ! 県民皆様の塩分摂取量を減らし、健康長寿日本一を目指すために、「いばらき美味(おい)しおスタイル」に全店舗で登録しました。



いばらき
美味しおスタイル



「からだ健やかシリーズ」の六黒健菜!
鶏肉の黒酢あん弁当/煮鯖と彩り野菜の雑穀ご飯弁当/鶏もも西京味噌焼きと雑穀ごはん弁当



安心してらせる

地域づくりのために ～地域をゆたかに～



災害にあわれた方々への支援

災害時における資機材の運搬支援

災害時における被災地の支援活動を迅速かつ円滑に行うため、資機材の運搬（荷役作業も含む）等の支援を行いました（2023年度は取手市、日立市、高萩市等）。



被災地支援タオルを茨城県社協へ寄付

福井県民生協様よりいただいたタオル1,130枚を台風13号による豪雨災害にあわれた方への支援活動に活かしてもらえよう、茨城県社会福祉協議会にお届けしました。



地震における石川県へ職員派遣

いばらきコープは、コープデリグループの会員生協とともに被災地域の一日も早い復旧と被災された方々が一日も早く平常の生活に戻られることを願い、緊急支援募金・現地への職員派遣を実施しました。



ランドセルカバー贈呈式

今年も県内の小学校60校へ2,560枚のランドセルカバーを寄贈しました。



いばらきコープ奨学金制度

2021年度より募集を開始した「いばらきコープ 奨学金制度」。
3年目を迎え、合計40名の奨学生の募集を1月下旬より開始しました。応募締め切りまでに募集人数を超える応募があり、4月に選考委員会を開催し、42名(新入生29名、2年生7名、3年生6名)の方を2024年度の奨学生として選出しました。

これにより、奨学生は80名(2023年度奨学生49名、そのうち10名が年度末に卒業)となりました。



一般社団法人 ふうあいねっとへ寄付

福島県から茨城県に避難をされている方々の生活再建のサポート事業及び、事業を円滑に実施するために必要な運営資金として100万円を寄付しました。



茨城アストロプラネッツによる「福祉児童のみんなと野球教室」開催しました。

茨城県児童福祉施設の皆さんを招いて野球教室を開催しました「福祉児童のみんなと野球教室」開催しました(茨城アストロプラネッツ)。



くらしの助け合いの会「30周年のつどい」開催

いばらきコープくらしの助け合いの会は、組合員による相互扶助の活動として1993年度に発足し、2023年度で30周年を迎えました。30年のあゆみを振り返り、会員や組合員同士の交流を深める場として、「発足30周年のつどい」を開催。参加者からは「30年活動が続くのは大変な苦労があったと思います。これからが必要となる助け合いの会なので、時代の変化に負けず頑張ってください。」などの声をいただきました。



牛久市おくの地区社会福祉協議会の皆様がうしく店に店舗見学

買い物弱者対策を考える機会としてコープうしく店に牛久市おくの地区社会福祉協議会の皆さんが店舗見学、お買い物体験に約20名の方が来られました。うしく店から移動店舗として毎週火曜日に伺っている地区です。柴崎理事長からは、いばらきコープの歴史や移動店舗の説明と、大関店長からはうしく店の説明をさせていただきました。



各市町村への表敬訪問

各市町村に2～3年に一度、市町村長を訪問し、締結している協定の状況や事業・活動の到達などを報告し、また、「誰もが安心してらせる地域づくり」を進めるための意見交換、行政からいばらきコープへの期待・要望をお聞きすることを目的に懇談をしています。2023年度は6市町村で実施しました。



龍ヶ崎市



常総市



取手市



守谷市



水戸市



行方市

いばらきコープ・日立市・日立商工会議所・株式会社良品計画の 四者による地域包括連携協定を締結

日立市とは、「要援護者見守り活動事業等への協力に関する協定」を2021年、「災害救助に必要な物資の調達に関する協定」を2015年に締結しています。

本協定は、相互連携と協働により、日立市の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、日立市の活性化及び日立市民の安心安全な暮らしの確保に資することを目的としています。

具体的には、日立駅前地区の活性化のほか、地域資源の循環・環境対策や子育て・次世代育成支援など、幅広い分野での連携をすすめていきます。



いばらきコープは水戸市との包括連携協力に 関する協定を締結

水戸市とそれぞれに有する人的・物的資源を活用しながら、相互にプラスとなる効果が見込まれる幅広い分野にわたって連携及び協力することにより、地域の発展と市民サービスの向上を図ることを目的に取り組みをすすめていきます。



地域のスポーツ振興を応援

地域貢献の一環として、地域でのスポーツ復興を応援しています。J1「鹿島アントラーズ」、J2「水戸・ホーリーホック」、プロ野球BCリーグ「茨城アストロプラネッツ」、バスケットチーム「茨城ロボッツ」、社会人ラグビーリーグ「日立Sun Nexus 茨城」、女子サッカーチーム「水戸シルエラ」をスポンサーとして応援しています。



協同組合ネットいばらき

2012年は国連が定めた「国際協同組合年」でした。その時を契機に県内の協同組合の連携が進み、その取り組みを継続するために「協同組合ネットいばらき」が設立されました。現在、生協や農協、漁協、森林組合などの協同組合やマスコミなど46の団体・企業が加盟し、さまざまな取り組みに取り組んでいます。いばらきコープも積極的に参加しています。



協同組合ネットいばらき

行政機関などの委員を受嘱しています

いばらきコープの役職員が、行政機関や団体の委員等に就任し、消費者の団体として、また流通・サービス事業者としての立場から参加し、意見を述べさせていただきます。

主な就任先

〔県〕

茨城県畜産センター、茨城をたべよう運動推進協議会、消費生活審議会、チャレンジいばらき県民運動、茨城県日本型直接支払制度推進委員会、茨城県農業総合センター評価委員会、茨城県食育推進委員会、茨城県オーガニック推進ネットワーク、茨城県食肉公正取引協議会、茨城むらまちネット

〔市町村〕

土浦市環境基本計画推進協議会、水戸市環境フェア実行委員会、水戸市廃棄物原料等推進審議会、笠間市環境審議会、小美玉市環境審議会、那珂市介護予防・生活支援サービス推進協議会、小美玉市生活支援体制整備事業（いい輪ネット）第1層協議体、桜川市生活支援体制整備事業協議体、稲敷市生活支援体制整備・介護予防推進事業協議会、神栖市生活支援・介護予防サービス協議体、牛久市生活支援体制整備事業第1層協議体、土浦ブランドアッププロジェクト推進協議会、日立市生活サポート連絡会議、小美玉市商工会サービス業部会



100年後の地球のために

～持続可能な社会のために～



いばらきコープ環境基金

2000年にいばらきコープ環境基金を設立。翌2001年より県内で環境保全や環境学習などを行う団体・個人に対して毎年助成を行っています。2024年度(2023年度受付)は44団体(個人含む)に総額277万円を助成しました。環境基金の財源は、組合員からコープデリ宅配や店頭で回収したリサイクル品の売却益を充てています。



二次元コード

2023年度 助成団体活動発表会の動画がご覧になれます。

URL

<https://sustainability.coopdeli.coop/sustainability/2024/03/post-229.html#movie2023>

環境基金助成実績推移

助成年度	助成件数	助成額(万円)
2019年(2018年度募集)	35	200
2020年(2019年度募集)	47	237
2021年(2020年度募集)	46	230
2022年(2021年度募集)	44	220
2023年(2022年度募集)	40	200
2024年(2023年度募集)	44	277



「いばらきエコファン」は、いばらきコープ環境基金の愛称です

がっこうシリーズ

自然豊かな茨城県を身近に感じてもらいながら、自然環境を守ることの大切さを家族みんなで考え、そして楽しく学ぶ「コープのがっこう」を毎年開催しています。実際に海や川、湖に行って、水辺に住む魚や小エビを捕まえたり、森の中でキノコを見つけたりしながら、自然や生き物について学ぶ体験学習です。2023年度は「海」「川」「湖」「森」「田」の5つのがっこうを開催し、組合員とその家族が参加しました。



二次元コード

二次元コードから動画「がっこうシリーズ」
をご覧になれます。

URL

https://www.youtube.com/watch?v=yrhmcspW_tw

環境教室

環境教室はいばらきコープの環境サポーターが講師となり、リサイクルや森林保全などについて学習します。資源の有効活用を実体験として学ぶことが出来る“牛乳パックを再利用してハガキをつくる「紙すき体験」”を、県内の教育機関や小学校、子ども会などから依頼を受け開催しました。



リサイクル回収実績(2023年度)

回収品目	回収量(t)	前年回収実績(t)	前年比
牛乳・飲料パック	73.4	70.4	104.3%
たまごパック	15.0	14.5	97.4%
ペットボトル	94.3	88.4	106.6%
食品トレー	34.7	34.4	100.9%
商品カタログ	3,504.1	3,665.2	95.6%
注文用紙	45.7	47.3	103.6%
商品・カタログお届け用 ポリエチレン袋	57.1	58.8	97.1%
合計	3,833.6	3,987.1	96.2%

※コープデリ宅配センター、店舗で回収されたリサイクル品は、コープデリグループのエコセンター(千葉県野田市)で減容処理を行っています。

太陽光発電設備設置事業所

事業所名	出力(kW)	設置日
十王センター	5.0	1999年 7月
千代川センター	5.2	2001年 2月
常陸太田センター	5.0	2001年 3月
鉾田センター	5.3	2004年 3月
龍ヶ崎センター	111.7	2023年 7月
ひたちなかセンター	190.0	2013年 4月
笠間センター	194.0	2013年 11月
鹿嶋センター	49.5	2017年 9月
菜の花の家 水戸	49.5	2017年 10月
水戸センター	70.0	2020年 4月
つくばみらいセンター	106.6	2021年 10月

太陽光発電設備の設置とPPS(新電力会社)への売電

施設の屋上などに太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーの普及を進めています。発電した電気は、環境負荷の少ない太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及をすすめている地球クラブ(日本生協連、コープデリ連合会等が出資設立した※PPS)に売電しています。

※PPS:Power Producer and Supplierの略。一般電気事業者(〇〇電力などの電力会社)以外の、電気の供給を行う事業または事業者のこと。



コープデリでんき くらしと未来にやさしいでんき

経済メリットのある電気や再生可能エネルギー比率の高い電気のメニューを提供し、消費者・組合員の選択の幅を広げ、組合員の暮らしや持続可能性のある社会づくりに貢献します。

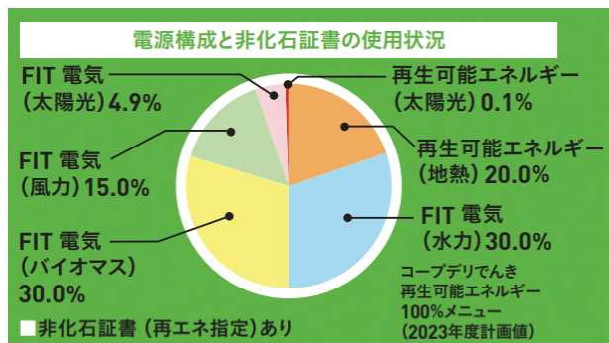
つくばみらいセンターで、「でんきトラックの出発式」を開催しました。



● 2024年度3月現在の契約件数6,204件

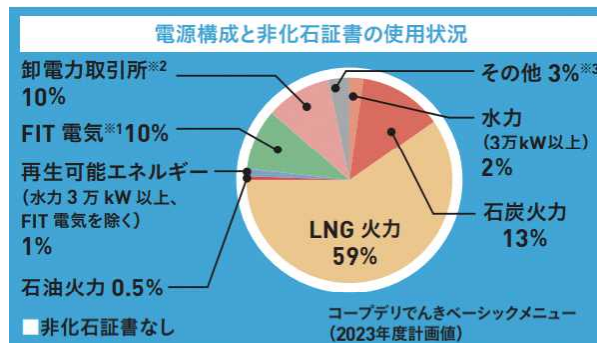
(再生可能エネルギー100% メニュー147件、ベーシックメニュー6,057件)

選べる2つのメニュー



再生可能エネルギー100%・FIT電気を100%(2022年度計画値) 使用するメニュー。

■ 非化石証書 (再エネ指定) あり



ベーシックメニュー

料金の安さを重視したメニュー。FIT電気を約33%(2022年度計画値) 使用するメニュー。

■ 非化石証書なし



世界中の人々の 平和で健康な生活のために



「平和とよりよき生活のために」。このスローガンのもと、いばらきコープでは平和の取り組みを行っています。平和の取り組みの財源の一部には、組合員の皆さんから協力いただいている「平和募金」に充てています。

ピースアクション

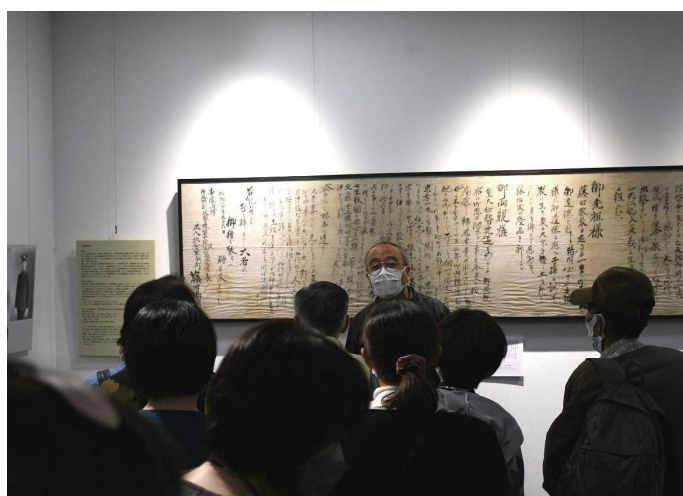
筑波海軍航空隊記念館で「いばらきコープ平和のつどい」を開催しました。

2023年度のいばらきコープの平和の取り組みを報告した後、ブロック委員会での平和の取り組みの報告2023ピースアクションinヒロシマ参加者報告、2023ピースアクションinオキナワ参加者報告をいただきました。その後、筑波海軍航空隊記念館の見学を行いました。

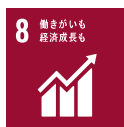
<参加者からの声>

- 「当時の展示物など戦争の歴史を体感できました」
 - 「次世代にも語り継いでいく事が私たちの責務と感じました」
 - 「記念館の見学ではガイドが付いていたので深く知ることができました」
- との感想をいただきました。

いばらきコープは引き続き、「平和とよりよき生活のために」のスローガンのもと、平和の取り組みを継続していきます。



人にやさしく誇りが持てる 組織をめざして



多様な働き方とライフ・ワークバランスの推進

次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みをすすめる「子育てサポート企業」として厚生労働省より「くるみん」の認定を受けています(認定年度:2009年、2014年、2016年、2018年、2019年、2021年)。
くるみんマークは、取得回数が一目でわかるよう取得回数に応じて星が増えていくマークになっています。
2021年度の取り組みで、星マークが5つになりました。



組合員の期待に応える職員

いばらきコープには、理念・ビジョンの実現に向けて、職員一人ひとりが仕事を進める際に行動の基本となる「行動指針」があります。そして、素晴らしい行動をした職員に対して、職場の仲間から「イネ!カード」を送ります。さらに、たくさんのイネ!の中から、素晴らしい事例をえらび、毎月表彰し全職員で共有しています。



イネ!カード

福祉事業

いばらきコープは、「誰もが安心してくらせる地域づくり」の実現のための取り組みの一環として通所介護事業(コープ菜の花デイサービスセンター・コープ菜の花石岡旭台デイサービスセンター)、訪問介護事業(コープヘルパーステーション)、居宅介護支援事業(コープケアプランセンター)、サービス付き高齢者向け住宅(コープ菜の花の家 水戸)を展開しています。



組合員のくらしに寄り添う商品とサービス

宅配事業

おいしさと安心を、ほしいときにお届け

2023年度、龍ヶ崎センターを開設しました。龍ヶ崎センターは、施設の老朽化と「洪水はん濫区域」に該当する「藤代センター」を移転し、閉鎖する「守谷センター」の約半分と「土浦センター」の一部を合わせた新センターとして開設しました。



店舗事業

2023年度、コープ日立店(ヒタチエB1F)がオープンしました。「おいしい」「うれしい」「たのしい」「こころあったまる」コープのお店を実現するために、地域の皆の声を大切に、地域に愛されるお店を目指していきます。



茨城県の支援制度に協力しています

「いばらきKidsClub制度」、「いばらき高齢者優待制度」、「いばらきヘルスケアポイント事業」に協力し、それぞれ、ポイント付与や割引などのサービスを実施しています。



行政区別組合員数

(組合員数2024年3月20日現在、世帯数2024年3月1日現在)

行政区	組合員数	世帯数	加入率
水戸市	49,651	126,004	39.40%
日立市	25,227	76,500	32.98%
土浦市	28,935	66,783	43.33%
古河市	14,858	58,356	25.46%
石岡市	9,278	28,876	32.13%
結城市	4,299	19,900	21.60%
龍ヶ崎市	10,094	33,585	30.06%
下妻市	5,087	17,346	29.33%
常総市	6,969	23,541	29.60%
常陸太田市	7,895	18,828	41.93%
高萩市	3,011	11,411	26.39%
北茨城市	3,967	17,042	23.28%
笠間市	10,794	29,894	36.11%
取手市	12,888	47,636	27.06%
牛久市	17,372	36,386	47.74%
つくば市	26,673	120,780	22.08%
ひたちなか市	30,657	68,590	44.70%
鹿嶋市	6,416	28,761	22.31%
潮来市	2,569	10,901	23.57%
守谷市	8,642	29,056	29.74%
常陸大宮市	5,317	15,606	34.07%
那珂市	8,068	21,476	37.57%

行政区	組合員数	世帯数	加入率
筑西市	12,430	39,061	31.82%
坂東市	5,531	19,436	28.46%
稲敷市	5,312	14,703	36.13%
かすみがうら市	4,917	16,032	30.67%
桜川市	6,094	13,513	45.10%
神栖市	9,446	42,188	22.39%
行方市	3,877	11,258	34.44%
鉾田市	5,719	19,186	29.81%
つくばみらい市	6,404	21,395	29.93%
小美玉市	6,441	18,863	34.15%
茨城町	5,537	11,901	46.53%
大洗町	1,990	6,690	29.75%
城里町	2,867	6,937	41.33%
東海村	5,959	16,056	37.11%
大子町	2,147	6,132	35.01%
美浦村	2,314	5,871	39.41%
阿見町	7,431	21,866	33.98%
河内町	1,130	2,879	39.25%
八千代町	2,159	7,524	28.69%
五霞町	638	3,038	21.00%
境町	2,548	9,191	27.72%
利根町	1,981	6,571	30.15%
茨城県	401,539	1,227,549	32.71%
県外	3,222		
総計	404,761		

【災害時協定】【見守り協定】茨城県、全市町村と協定締結
【地域包括協定連携協定】日立市、水戸市と協定締結
【災害時における資機材の運搬に関する協定】
茨城県社会福祉協議会と協定締結



いばらきコープは「茨城をたべよう運動」を応援しています。

「茨城をたべよう運動」は県民が一丸となって県産農林水産物を食べて応援していく地産地消運動です。茨城県では、平成24年11月9日に農林水産業の関係団体などを中心に280団体で「茨城をたべよう運動推進協議会」が設立し、令和3年度から協議会の取組を拡充させるとともに、協議会の名称を「いばらき食の魅力発信協議会」に改め、引き続き「茨城をたべよう」のシンボルマークを活用しながら、県産農林水産物の県内外での認知度向上と消費拡大を図っていく取り組みを応援しています。

コープデリグループサステナビリティサイトはこちらの二次元コードからご覧になれます
URL <https://ibaraki.coopnet.or.jp/csr/>

